

# **FS040U User Guide**

**2023 年 10 月**

# 目次

はじめに .....	1
同梱品の確認 .....	1
動作環境 .....	2
安全上のご注意 .....	3
医用電気機器近くでの取り扱いについて .....	7
取り扱い上のご注意 .....	8
共通のお願い .....	8
本製品についてのお願い .....	8
SIM カードについてのお願い .....	9
注意 .....	9
各部の名称と機能 .....	10
ステータスランプ表示の見方 .....	10
SIM カードについて .....	11
SIM カードの取り付け方 .....	11
設定ツール .....	12
設定ツールの起動とログイン .....	12
設定ツール画面 .....	13
基本情報 .....	14
モバイルネットワーク設定 .....	15
プロファイル設定 .....	15
ネットワーク設定 .....	17
ローミング設定 .....	18
データ通信量 .....	19
PIN コード設定 .....	20
LAN 設定 .....	24
DHCP .....	24
ルータ設定 .....	25
IP フィルタリング .....	25
ポートマッピング .....	27
DMZ 設定 .....	28
NAT .....	29
システム設定 .....	30
ログインパスワード設定 .....	30
時刻設定 .....	31
保存と復元 .....	32
工場出荷設定 .....	33
端末再起動 .....	34

---

ソフトウェアアップデート .....	35
オフラインアップデート .....	35
オンラインアップデート .....	36
付録 .....	37
主な仕様 .....	37
輸出管理規制 .....	38
Declaration of Conformity .....	38
FCC Regulations .....	39
RF Exposure Information(SAR) .....	40
知的財産権 .....	41
オープンライセンスの告知 .....	41

---

# はじめに

このたびは、データ通信専用機種 FS040U(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※FS040U は、「micro SIM 対応モデル」と「nano SIM 対応モデル」があります。  
モデルの区分が必要な場合を除き「FS040U」と記載します。

## ご利用いただくにあたって

- ・ 本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用になれない場合があります。
- ・ 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・ 海外でご利用いただく場合は、事前にご契約先のお問い合わせ窓口へ確認してください。
- ・ 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

## 同梱品の確認

お買い上げいただいた本製品には、次のものが入っています。ご利用になる前に確認してください。万一、不足していた場合には、ご契約先のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

本体	FS040U	1 個
同梱品	クイックスタートガイド	1 部

## 動作環境

対応 OS	Windows 11	日本語版, 64 ビット
	Windows 10	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 8.1	日本語版, 32/64 ビット
	Windows 7	日本語版(Service Pack 1 以降), 32/64 ビット
必要なメモリ	Windows 11	推奨 2GB 以上
	Windows 10	推奨 2GB 以上
	Windows 8.1	推奨 2GB 以上
	Windows 7	推奨 2GB 以上
ハードディスク	200MB 以上の空き容量	
インタフェース	USB 2.0 High Speed	

- ・ 上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ USB アダプタや USB ハブ(モニタやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを経由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ OS のアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- ・ ウェブブラウザの設定によってはご利用できない、もしくは正しく表示されない場合があります。




# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。






この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載していますので、必ずお守りください。

## 表示区分の説明






次の表示の区分は、表示内容を守らずに誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しております。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

## 図記号の意味

 <b>禁止</b>	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 <b>分解禁止</b>	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 <b>水濡れ注意</b>	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火するおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 <b>濡れ手禁止</b>	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 <b>指示</b>	本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。

 **危険**










	<p>直射日光が当たる場所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用や、放置はしないでください。</p> <p>発熱、発火、機器の変形や故障の原因となります。また、本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。</p>
	<p>高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器(心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど)の動作に影響を及ぼすおそれがあります。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売会社にご相談ください。</p>
	<p>分解、改造をしないでください。</p> <p>火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。</p> <p>本製品の改造は電波法に違反します。</p>
	<p>濡れた手で触らないでください。</p> <p>感電や故障の原因となります。</p>
	<p>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。</p> <p>発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p> <p>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</p> <p>液体がこぼれて濡れると、発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>

 **警告**

	高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。 機器の故障、火災、本人や他の人のけがの原因となります。
	USB コネクタに導通性異物を接触させないでください。また、すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にいれないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	必ず専用の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	車両の運転中に本製品を使用しないでください。 交通事故の原因となります。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。
	エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本製品を置かないでください。 エアバッグが展開した場合、本製品が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外してください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。異常に気づいたときは、ただちにご使用をお止めください。
	内部に水などが入った場合には、ただちにご使用をお止めください。 そのまま使用し続けると、感電や故障の原因となります。







 **注意**

	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	本製品、SIM カードに無理な力を加えないでください。 故障、けがの原因となります。
	車両の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。 本製品を自動車内で使用すると、まれに車両の電子製品に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
	磁気カードなどを本製品に近づけないでください。 キャッシュカード、クレジットカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
	お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。 異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
	小さなお子様手の届かない場所に保管してください。 SIM カードを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
	子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。 使用中においても指示どおりに使用しているかご注意ください。けがなどの原因となります。
	本製品を長時間ご使用される場合、本製品の温度が高くなる場合があります。 温度の高い部分に長時間触れると低温やけどになる恐れがあります。

# 医用電気機器近くでの取り扱いについて



 指示	医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。 医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
 指示	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。 電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
 指示	身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、本製品を使用しないでください。 付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型徐細動器などの医療機器を装着している方がいる可能性があります。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
 指示	自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- ・ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源がきれる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・ 本製品に無理な力がかからないように使用してください。  
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基盤などの破損、故障の原因となります。

## 本製品についてのお願い

- ・ 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・ 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ パソコンに USB コネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

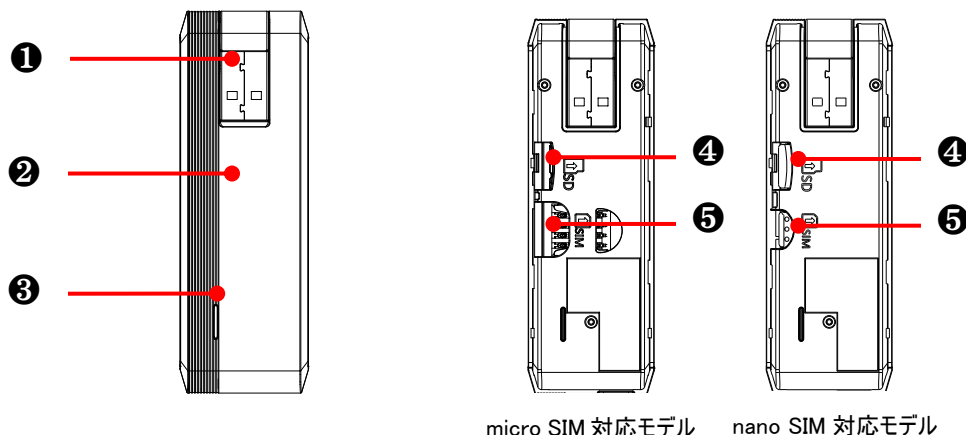
## SIM カードについてのお願い

- ・ SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

## 注意

- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘版シールに表示されております。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

# 各部の名称と機能



名称	機能
① USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続します。
② 本体カバー	SIM カード、SD カードの付け外しをするときに取り外します。
③ ステータスランプ	本製品の状態を示します。
④ SD カードスロット	micro SD カードを取り付けます。
⑤ SIM カードスロット	micro SIM または nano SIM カードを取り付けます

※本製品は micro SIM 対応、nano SIM 対応の 2 つモデルがあります。

対応した SIM カードを使用してください。

※製品出荷時は SD カードをご利用できません。

## ステータスランプ表示の見方

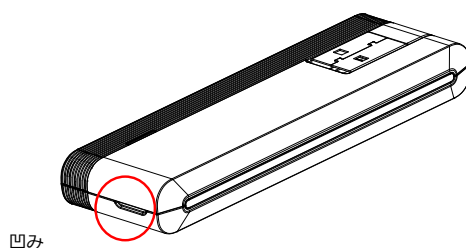
色および点灯パターン	状態
複数色で点滅	起動中
赤色点滅	圏外
赤色点灯	SIM カード未挿入・異常
	PIN ロック
水色点滅	待機中
紫色点灯	3G(WCDMA)通信中
青色点灯	3G(HSPA)通信中
緑色点灯	4G(LTE)通信中
黄色点灯	製品のアップデート中

# SIM カードについて

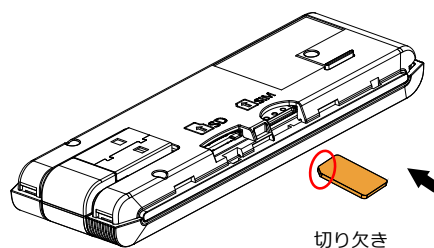
SIM カードは電話番号などお客様の情報が記録されている IC カードです。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用することができません。本製品を利用する前に SIM カードを取り付けてください。

## SIM カードの取り付け方

1. 本体にある凹み部分に指を入れ、本体カバーを取り外します。



2. SIM カードの IC 部分を下に向けて、SIM カードスロットに挿入します。  
挿入する際は、挿入方向(切り欠きの向き)にご注意ください。



※nano SIM 対応モデルは SIM カードを「カチッ」と音がするまで SIM カードスロットの中へ挿入してください。

※nano SIM スロットの上面(金属面)から無理な力をかけないでください。

3. 本体カバーを取り付けます。

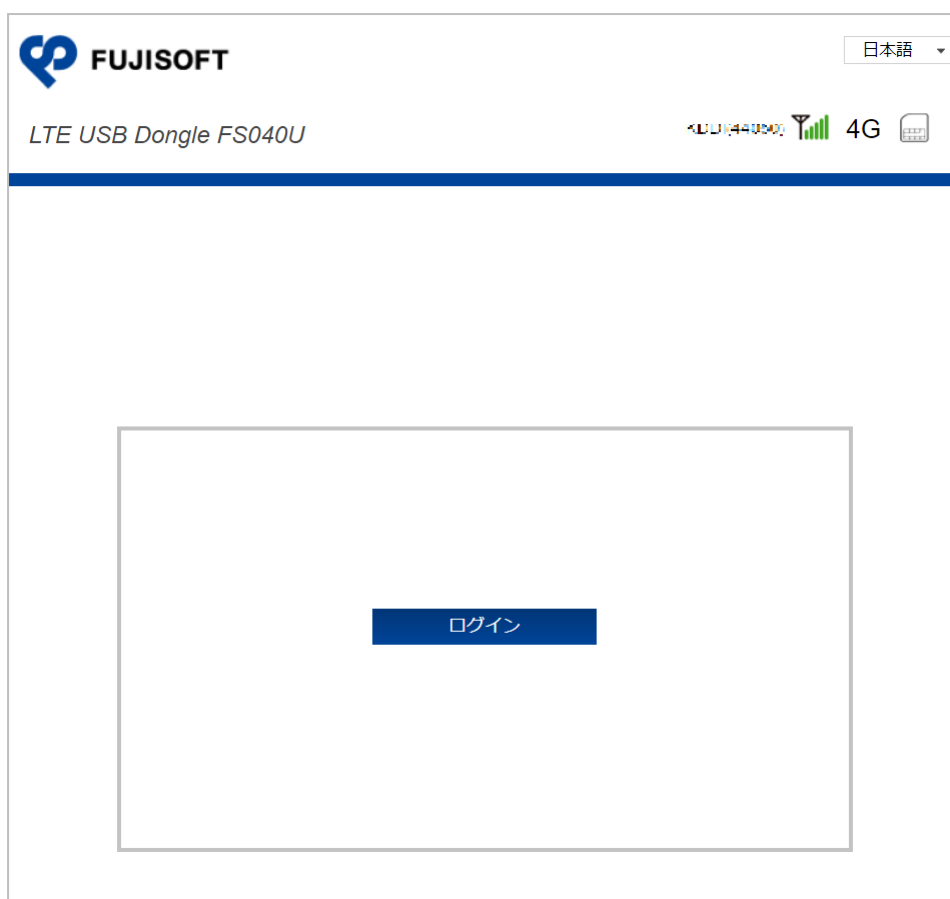
### 注意

- ・ SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ・ SIM カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で SIM カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ 取り外した SIM カードを紛失しないようご注意ください。

# 設定ツール

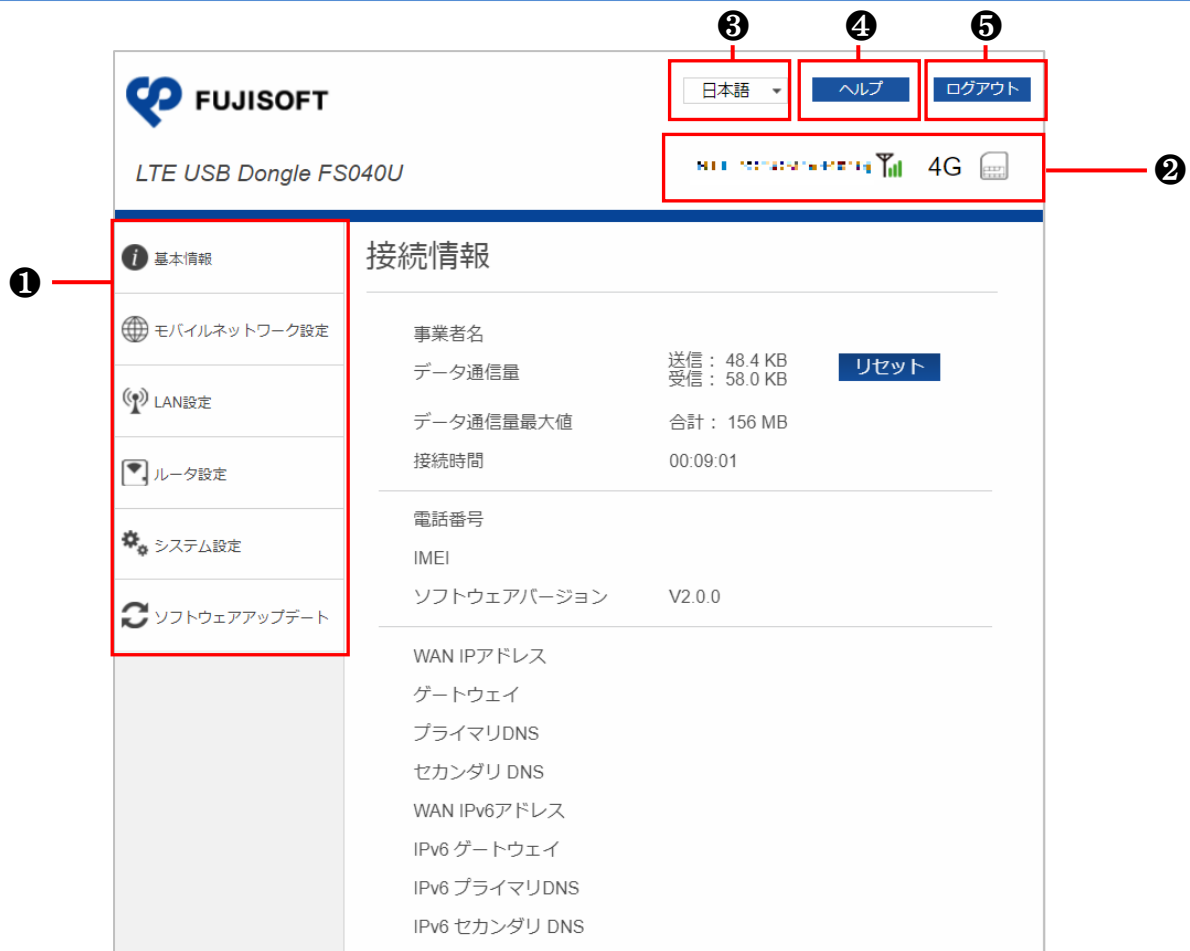
## 設定ツールの起動とログイン






1. パソコンの USB ポートに接続します。
2. パソコンの Web ブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.200.1/」と入力してください。  
ログイン画面が表示されます。
3. 「ログイン」をクリックします。



- ・ ログインパスワードの入力を有効にする場合は、ログインパスワード設定を有効にしてください。  
なお、有効にした場合の初期パスワードは admin となっています。

# 設定ツール画面



名称	機能
① 設定メニュー	本製品の設定をおこなうページを表示します。
② 本製品の状態	<p>[通信事業者] 通信事業者が表示されます。</p> <p>[受信レベル]                          「圏外」 「弱」 → 「強」</p> <p>[通信方式]                      N : 圏外状態    4G : 4G 通信状態    3G : 3G 通信状態</p> <p>[SIM 状態]   : SIM 正常認識     : SIM 未挿入</p>
③ ヘルプ	本書を表示します。
④ 言語選択	FS040U 設定ツールの表示言語を選択することができます。
⑤ ログアウト	FS040U 設定ツールからログアウトします。



# 基本情報

接続情報や各設定の情報が表示されます。

<b>基本情報</b>	<b>接続情報</b>
モバイルネットワーク設定	事業者名
LAN設定	データ通信量 送信：48.4 KB 受信：58.0 KB <a href="#">リセット</a>
ルータ設定	データ通信量最大値 合計：156 MB
システム設定	接続時間 00:09:01
ソフトウェアアップデート	電話番号
	IMEI
	ソフトウェアバージョン V2.0.0
	WAN IPアドレス
	ゲートウェイ
	プライマリDNS
	セカンダリ DNS
	WAN IPv6アドレス
	IPv6 ゲートウェイ
	IPv6 プライマリDNS
	IPv6 セカンダリ DNS

表示項目	説明
事業者名	接続中の事業者名が表示されます。
データ通信量	通信中のデータ量が表示されます。 リセットボタンを押すとデータ通信量、接続時間がリセットされます。
データ通信量最大値	「データ通信量の合計」「設定したデータ通信量の最大値」が表示されます。
接続時間	電源 ON してからのネットワーク接続累積時間が表示されます。
電話番号	SIM カードに登録されている電話番号が表示されます。
IMEI	本製品の IMEI が表示されます。
ソフトウェアバージョン	本製品のソフトウェアのバージョンが表示されます。
WAN IP アドレス	ネットワークから割り当てられた IP アドレスが表示されます。
ゲートウェイ	ネットワークから割り当てられたゲートウェイアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられた DNS アドレスが表示されます。
セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられた DNS アドレスが表示されます。
WAN IPv6 アドレス	ネットワークから割り当てられた IP アドレスが表示されます。
IPv6 ゲートウェイ	ネットワークから割り当てられたゲートウェイアドレスが表示されます。
IPv6 プライマリ DNS	ネットワークから割り当てられた DNS アドレスが表示されます。
IPv6 セカンダリ DNS	ネットワークから割り当てられた DNS アドレスが表示されます。

# モバイルネットワーク設定

## プロフィール設定

4G/3G ネットワークに接続するための設定をおこないます。

新規にプロフィールを作成する場合は「新規」ボタンを、既存のプロフィールを編集する場合は、プロフィール設定のプロフィールリストを選択して編集してください。製品に搭載されたプロフィールを使用して自動的に接続操作を場合は、「プロフィールの自動設定」を選択してください。



設定項目	説明	設定値	初期値
プロフィール設定	接続方法、接続するプロフィールを選択します。  「プロフィールの自動設定」を選択した場合は製品に搭載されたプロフィールを使用して自動的に接続操作を行います。登録されているプロフィールを選択した場合、選択したプロフィールを使用してネットワークへ接続します。	-	プロフィールの自動設定

[プロファイルの新規作成]

新規にプロファイルを作成する場合は「新規」ボタンを押してください。

設定項目	説明	設定値	初期値
プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。	半角英数字最大 64 文字	なし
ユーザ名	事業者より指定されたユーザ名を入力します。	半角最大 64 文字	なし
パスワード	事業者より指定されたパスワードを入力します。	半角最大 64 文字	なし
APN	事業者より指定された APN を入力します。	半角最大 62 文字 (, " ; ¥ \ < > & 除く)	なし
認証方式	事業者より指定された認証方式を設定します。	PAP、CHAP	PAP
接続方式	事業者より指定された認証方式を設定します。	IPv4、IPv6、IPv4/v6	IPv4

# ネットワーク設定

使用するネットワークに関する設定をおこないます。



設定項目	説明	設定値	初期値
ネットワークモード	使用するネットワークの通信方式を設定します。	自動、4G(LTE)、3G	自動
ネットワーク検索	ネットワークの検索方法を指定します。 手動に設定すると周辺のネットワークを検索して手動で選ぶことができます。	自動、手動	自動

# ローミング設定

本製品を海外で利用する際のローミング設定をおこないます。



設定項目	説明	設定値	初期値
ローミング	本設定を ON にすると海外での利用を許可します。OFF の場合は国内のみ利用可能です。	ON、OFF	ON

- ・ 国際ローミングに対応した国内 SIM カードを使用してください。
- ・ 海外の SIM カードについては動作保証していません。

## データ通信量

データ通信量最大値の設定並びに、自動的にデータ通信量をリセットする設定を行います。

設定項目	説明	設定値	初期値
データ通信量 最大値	表示するデータ通信量の値を設定します。	1～999MB 1～999GB 1～999TB	未設定
自動リセット設定	本製品のデータ通信量の自動リセット設定をします。	有効、無効	無効
	本製品のデータ通信量の自動的にリセットする設定をします。 毎日:データ通信量を日々リセットします。 毎週:設定した曜日にデータ通信量をリセットします。 毎月:設定した日にデータ通信量をリセットします。	毎日、毎週、毎月	毎月

- 自動リセットは日本時間で動作します。海外利用時はご注意ください。

# PINコード設定

SIMカードには、PINコードと呼ばれる暗証番号を設定することができます。

パスワードを設定する事で電源ONのたびに4～8桁の暗証番号(半角数字)を入力する必要があり、第三者による無断使用を防ぐ事ができます。本設定ではPINの有効・無効、PINコードの変更をおこないます。

## [PINコード有効設定]

PINコードを有効に設定します。



設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態が表示されます。	-	PIN コード無効
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。	-	3
残り試行回数 (PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。	-	10
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードの有効／無効設定、および PIN コードの変更をおこないます。	-	有効
現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	なし

## [PINコード変更設定]

4桁のPINコードを変更します。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態が表示されます。	-	PIN コード有効
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。	-	3
残り試行回数 (PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。	-	10
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードの有効／無効設定、および PIN コードの変更をおこないます。	-	変更
現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	なし
新しい PIN コード	新しく設定する PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	なし
新しい PIN コードの確認	新しく設定する PIN コード再入力します。	4～8 桁の数字	なし



## [PINコード無効設定]

PINコードを無効にします。

**PINコード設定**

PIN状態: PINコード有効

残り試行回数(PIN): 3

残り試行回数(PUK): 10

PINコードの操作:  変更  無効

現在のPINコード:

設定 キャンセル

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態が表示されます。	-	PIN コード有効
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。	-	3
残り試行回数 (PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。	-	10
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの PIN コードの有効／無効設定、および PIN コードの変更をおこないます。	-	無効
現在の PIN コード	ご利用中の SIM カードの PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	なし

## [PIN ロック解除設定]

PIN コードを 3 回間違えた場合、PIN ロックされます。PIN ロックの状態は PUK コードを入力する事で解除されます。

設定項目	説明	設定値	初期値
PIN 状態	ご利用中の SIM カードの PIN コードの状態が表示されます。	-	PIN コード有効
残り試行回数 (PIN)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PIN コードの回数が表示されます。	-	0
残り試行回数 (PUK)	ご利用中の SIM カードに対して入力可能な PUK コードの回数が表示されます。	-	10
PIN コードの操作	ご利用中の SIM カードの、PIN ロックを解除するためのコードを入力します。	-	-
PUK	ご利用中の SIM カードの、PIN ロックを解除するためのコードを入力します。	8 桁の数字	なし
新しい PIN コード	新しく設定する PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	なし
新しい PIN コードの確認	新しく設定する PIN コード再入力します。	4～8 桁の数字	なし

- ・ PIN コード、および PIN ロック解除コードは、事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN コード、および PIN ロック解除コードは、他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN コードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN コードの入力を 3 回間違えた場合、PIN ロック解除コードが必要となりますのでご注意ください。PIN ロック解除コードについてはご契約先の事業者にお問い合わせください。
- ・ PIN ロックされた状態で PIN コード解除コードの入力を 10 回連続で間違えると、ご利用中の SIM カードが完全にロックされた状態となります。その場合はご契約いただいた事業者にお問い合わせください。

# LAN 設定

## DHCP

LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる DHCP に関する設定をおこないます。

The screenshot shows the DHCP configuration page. On the left is a sidebar with menu items: 基本情報, モバイルネットワーク設定, LAN設定, DHCP (highlighted), ルータ設定, システム設定, and ソフトウェアアップデート. The main content area is titled 'DHCP' and contains the following settings:

- IPアドレス: 192.168.200.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- DHCPサーバ:  有効  無効
- DHCP IPプール: 192.168.200.10 - 192.168.200.50
- DHCPリースタイム: 1日
- DNS設定:  自動  手動

At the bottom right, there are buttons for '設定' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

設定項目	説明	設定値	初期値
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	192.168.200.1
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	255.255.255.0
DHCP サーバ	DHCP サーバの有効／無効を設定します。	有効、無効	有効
DHCP IP プール	本製品に接続された無線 LAN 機器に割り当てるプライベート IP アドレスの最小値を設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	192.168.200.10~ 192.168.200.50
DHCP リースタイム	無線 LAN 機器に割り当てた IP アドレスのリースタイムを設定します。	30分、1時間、2時間、 半日、1日、2日、1週間、 2週間	1 日
DNS 設定	DNS サーバのアドレスを自動／手動で設定します。	自動、手動	自動
プライマリ DNS アドレス	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	なし
セカンダリ DNS アドレス	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	なし

# ルータ設定

## IP フィルタリング

送信元(LAN 側)から送信先(WAN 側)アドレスに通過するかフィルタリングの設定をおこないます。

設定項目	説明	設定値	初期値
種別	登録した IP アドレスのアクセス許可、禁止を設定します。	許可、禁止	許可
状態	IP フィルタリング機能の有効、無効を設定します。	有効、無効	無効
プロトコル	IP フィルタリングの対象とするプロトコルを設定します。	TCP、UDP、TCP/UDP	TCP
LAN 側 IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする LAN 側の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字アドレスの範囲を設定してください。 例: 192.168.200.20-50	なし
LAN 側ポート番号	IP フィルタリングの対象とする LAN 側のポート番号または、ポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は、「:」で連結します。 例: ポート番号 80 範囲指定 80:8080	なし

設定項目	説明	設定値	初期値
種別	登録した IP アドレスのアクセス許可、禁止を設定します。	許可、禁止	許可
状態	IP フィルタリング機能の有効、無効を設定します。	有効、無効	無効
プロトコル	IP フィルタリングの対象とするプロトコルを設定します。	TCP、UDP、TCP/UDP	TCP
LAN 側 IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする LAN 側の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字アドレスの範囲を設定してください。 例: 192.168.200.20-50	なし
LAN 側ポート番号	IP フィルタリングの対象とする LAN 側のポート番号または、ポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は、「:」で連結します。 例: ポート番号 80 範囲指定 80:8080	なし

WAN 側 IP アドレス	IP フィルタリングの対象とする WAN 側の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字 アドレスの範囲を設定してください。 例: 192.168.200.20-50	なし
WAN 側ポート番号	IP フィルタリングの対象とする WAN 側のポート番号または、ポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は、「:」 で連結します。 例: ポート番号 80 範囲指定 80:8080	なし

- WAN 側から LAN 側へのフィルタリング設定は対応していません。
- IPv6 アドレスは対応していません。

# ポートマッピング

インターネットから LAN 内の端末にアクセスするためのポートマッピング設定をおこないます。

設定項目	説明	設定値	初期値
ポートマッピング	ポートマッピング機能の有効、無効を設定します。	無効、有効	無効
名前	ポートマッピングのルールに任意の名前を設定します。	文字種別(英数小文字、大文字、数字、-[ハイフン])	なし
LAN 側ポート番号	ポートマッピングの対象とする LAN 側のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	なし
WAN 側ポート番号	ポートマッピングの対象とする WAN 側のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	なし
プロトコル	ポートマッピングの対象とするプロトコルを設定します。	TCP、UDP、Both	TCP
LAN 側 IP アドレス	ポートマッピングの対象とする LAN 側の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	なし
状態	ポートマッピング設定の有効、無効を設定します。	無効、有効	無効

- IPv6 アドレスは対応していません。

# DMZ 設定

LAN 内の端末を、DMZ ホストとして設定することができます。



設定項目	説明	設定値	初期値
DMZ	DMZ 設定の有効／無効を設定します。	無効、有効	無効
宛先 IP アドレス	DMZ 設定の対象とする LAN 側の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の数字	なし

- ・ 設定変更後、本製品は自動で再起動します。
- ・ IPv6 アドレスは対応していません。

# NAT

UPnP、VPN 関連の設定をすることができます。

設定項目	説明	設定値	初期値
UPnP	UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)は、周辺機器、情報家電などUPnP対応デバイスを接続する機能を提供します。セキュリティ上、必要ない場合は無効にすることをお勧めします。	有効、無効	無効
L2TP パススルー	VPN(仮想プライベートネットワーク)は、暗号化プロトコルを利用することで仮想的な通信トンネルを確立し第三者がアクセス出来ないプライベートネットワークを作ることが出来ます。本製品では3種類のパススルー機能を搭載することで、VPN通信を通過させることができます。	有効、無効	有効
PPTP パススルー		有効、無効	有効
IPsec パススルー		有効、無効	有効



# システム設定

## ログインパスワード設定

FS040U 設定ツールのログインパスワードの設定をおこないます。



設定項目	説明	設定値	初期値
ログインパスワード設定	ログイン時のパスワードの入力可否を設定します。ログイン時にパスワード入力を設定する場合は有効に変更してください。なお、製品出荷時の初期パスワードは admin が設定されています。	有効、無効	無効
現在のパスワード	現在のログインパスワードを入力します。	半角英数字最大 15 文字	admin
新しいパスワード	新しいログインパスワードを入力します。	半角英数字最大 15 文字	なし
新しいパスワードの確認	新しいログインパスワードを確認のため、再入力します。	半角英数字最大 15 文字	なし

# 時刻設定

本製品の時刻設定をおこないます。

時刻設定が正しく設定されていない場合、データ通信量の自動リセット、自動再起動について、正常に動作しません。

The screenshot shows the '時刻設定' (Time Setting) page. On the left is a sidebar menu with items: 基本情報, モバイルネットワーク設定, LAN設定, ルータ設定, システム設定, ログインパスワード設定, 時刻設定 (highlighted), 保存と復元, 工場出荷設定, 端末再起動, and ソフトウェアアップデート. The main content area is titled '時刻設定' and contains: '時刻設定' with radio buttons for '有効' (selected) and '無効'; 'NTPサーバアドレス' with a text input field containing 'ntp.nict.jp'; and '適用' and 'キャンセル' buttons at the bottom right.

設定項目	説明	設定値	初期値
時刻設定	時刻設定の有効／無効を設定します。	有効、無効	有効
NTP サーバアドレス	NTPサーバアドレスを設定します。 サーバアドレスはホスト名で入力します。	最大 128 文字	ntp.nict.jp

- 時刻設定をするための通信を自動的に行うため、パケット通信料金が発生する場合がありますのでご注意ください。

## 保存と復元

本製品の設定した情報の保存、復元をおこないます。



[保存をする場合]

1. 「変更の保存」欄の「保存」ボタンをクリックします。
2. 設定情報がパソコンに保存されます。

[復元をする場合]

1. 「復元ファイルの選択」欄の「ブラウザ」ボタンをクリックします。
2. パソコンに保存されている本製品の設定情報ファイルを選択します。
3. 「復元」をクリックすると、本製品の設定情報が復元されます。

# 工場出荷設定

本製品を出荷時の状態に戻します。



1. 「初期化」ボタンをクリックします。

本製品が自動的に再起動し、設定が出荷時の状態に戻ります。

# 端末再起動

本製品を再起動する設定をします。



設定項目	説明	設定値	初期値
再起動	本製品を再起動します。	-	-
自動再起動設定	本製品を自動的に再起動する設定をします。	有効、無効	無効
	本製品を自動的に再起動する日時の設定をします。  毎日：指定した時刻で日々再起動します。 毎週：指定した時刻の曜日に再起動します。 毎月：設定した日時に再起動します。	毎日、毎週、 毎月	毎日

# ソフトウェアアップデート

## オフラインアップデート

最新のソフトウェアを当社ホームページからダウンロードし、ソフトウェアのアップデートをすることができます。



1. 当社ホームページからアップデートファイルを取得します。
2. 「アップデートファイルの選択」欄の「ブラウザ」ボタンをクリックします。
3. パソコンに保存されているアップデートファイルを選択します。
4. 「開始」をクリックすると、本製品のアップデートが開始されます。

# オンラインアップデート

最新のソフトウェア有無を確認し、最新のソフトウェアがある場合はオンラインでアップデートすることができます。



1. 「アップデートの確認」をクリックします。
2. 最新のファイルがある場合はアップデートが開始されます。手順に従いアップデートをしてください。

- ・ アップデート中はステータスランプが黄色で点灯します。
- ・ オンラインアップデートは約 90 Mbyte 通信量が発生します。ダウンロードに関する通信料は、お客様負担となります。
- ・ アップデートは通信の安定している場所で実施してください。
- ・ アップデートが完了するまで、FS040U をパソコンから取り外さないでください。
- ・ パソコンのバッテリー充電が十分であることを確認してください。また、スリープ、休止状態などに入らないようパソコンの設定を確認してください。
- ・ ソフトウェアのアップデートには Windows パソコンが必要です。
- ・ ソフトウェアのアップデートは管理者権限(Administrator)を持つユーザアカウントで行ってください。
- ・ オンラインアップデートを実施する際はインターネットに接続されていることを確認してください。

## 付録

### 主な仕様

製品名	FS040U
外形寸法	約 95mm(H) × 約 32mm(W) × 約 12.2mm(D)
質量	約 39g
インターフェース	USB 2.0
消費電力	最大消費電流 4G(LTE): 約 600mA 以下 3G: 約 430mA 以下  平均消費電流 4G(LTE): 約 570mA 以下 3G: 約 400mA 以下
環境条件	動作温度範囲: -10~55℃ 動作湿度範囲: 0~85% (結露なきこと)
対応周波数	4G(LTE) : 800MHz / 1500MHz / 1800MHz / 2100MHz / 2500MHz 3G : 800MHz / 850MHz / 2100MHz
通信方式	4G(LTE) : DL 150Mbps / UL 50Mbps 3G : DL 42Mbps / UL 5.76Mbps ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。 また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、もしくは通信できなくなる場合があります。



## 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

## Declaration of Conformity



Hereby, [FUJISOFT INCORPORATED] declares that the radio equipment type [FS040U] is in compliance with Directive 2014/53/EU.

Contact information:

Manufacturer: FUJI SOFT INCORPORATED

Manufacturer address: 1-1 Sakuragi-cho, Naka-ku, Yokohama-shi,  
Kanagawa 231-8008, Japan

## FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiated radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

## RF Exposure Information(SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The exposure standard for wireless device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg. \*Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output. SAR compliance has been established in the host product(s)

(laptop computers), tested at 5mm separation distance to the human body, and tested with USB slot configurations including Horizontal-UP, Horizontal-Down, Vertical-Front, Vertical-Back. This device can be used in host product(s) with substantially similar physical dimensions, construction, and electrical and RF characteristics. The highest SAR value, tested per FCC RF exposure guidelines for USB dongle, as described in this user guide, is 1.13W/kg. The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of [www.fcc.gov/oet/ea/fccid](http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid) after searching on.

FCC ID: 2ANKMFS040U.

## 知的財産権

※Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## オープンライセンスの告知

本製品は GNU General Public License(Version2)など、各種ライセンスが適用されたオープンソフトウェアを使用しています。詳細は下記のホームページをご参照ください。

<https://fsi-plusf.jp/index.html>

本製品で使用しているオープンソフトウェアのソースコードをご希望の場合はホームページのお問い合わせよりご連絡ください。

<https://fsi-plusf.jp/inquiry/index.html>

- ・ 本書の内容は一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・ 本書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。

製造元 富士ソフト株式会社

発行年月 2023年10月 第3版